

緊急アピール 「憲法破壊」に反対する

昨年末の総選挙での自民党の圧勝を受けて安倍晋三氏が首相に返り咲いて以来、「改憲」の危険性は急速に高まっています。自民党が昨年四月に発表した「日本国憲法改正草案」は、戦力の不保持と交戦権の否認を定める憲法九条二項の削除、「国防軍」の設置や「緊急事態」条項の新設など、日本国憲法の平和主義を根本的に否定するものです。

日本国憲法がこれまでにない大きな試練にさらされている今日、「九条の会」のアピール（2004年6月10日）を読み返し、改めて賛同の輪を広げていくことが喫緊の課題となっています。

「九条の会」のアピールは次のように呼びかけました。

「日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。

ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を超える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導きだしました。

侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決心しました。

しかるに憲法制定から半世紀以上を経たいま、九条を中心に日本国憲法を『改正』しようとする動きが、かつてない規模と強さで台頭しています。その意図は、日本を、アメリカに従って『戦争をする国』に変えるところにあります。」

「私たちは、平和を求める世界の市民と手をつなぐために、あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。そのためには、この国の主権者である国民一人ひとりが、九条を持つ日本国憲法を、自分のものとして選び直し、日々行使していくことが必要です。」

「日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。」

この「九条の会」のアピールに賛同し応える動きは全国に広がり、九条を中心に日本国憲法を「改正」しようとする動きを止める大きな力となりました。私たちも、「九条の会」アピールを支持し、愛知県内の多くの大学の九条の会と協力しつつ、『九条の会』愛知・大学人の会からの呼びかけ（2004年12月18日）を公表するなど、憲法九条を守る運動を発展させてきました。

自民党の「日本国憲法改正草案」は、日本国憲法の平和主義を根本的に否定するだけではありません。天皇を「元首」にする一方、国旗・国歌の尊重義務を始めとして多くの「国民の義務」を創設して、主権者のあり方を変更しようとしています。また、人権制約をさらに容易にするための改憲を提言しています。「日本国憲法改正草案」は、日本国憲法の三大原理である、国民主権、基本的人権の尊重、そして平和主義を徹底的に形骸化させようとする目論みものです。これは、まさに憲法破壊というべきものです。このような内容の改憲が実現したら、日本国憲法の下で醸成されてきた東アジア諸国との信頼関係は損なわれ、東アジアにおける平和の構築も困難になるでしょう。

安倍首相は他党との連携を視野に入れて、憲法改正の発議要件を各議院の総議員の「三分の二以

上」の賛成から、「過半数」の賛成に変更するための九六条改憲を先行させるとしていますが、改憲発議要件の緩和が実現した暁には、「日本国憲法改正草案」に基づく九条改憲に手を付けることは、火を見るより明らかです。

だからこそ今、「九条の会」アピールの意義を再確認して、そのメッセージをより多くの人々に広げていく活動を再構築する必要があります。「九条の会」がある大学ではその活動をさらに活性化させ、それがまだない大学では、「九条の会」を新たに組織していく中で、憲法改悪に反対し、憲法九条を守る声を広げていきましょう。

私たち大学人がこぞって「憲法九条を守ろう」の声を挙げ、今こそ日本国中に「憲法九条を守ろう」、「憲法改悪反対」の機運を盛り上げていくことで、核廃絶・平和実現を求める世界の人々の期待に応えましょう。

2013年3月16日

呼びかけ人

青木みか（名古屋女子大学名誉教授）、大崎竜也（名古屋芸術大学講師）、
大谷肇（名古屋工業大学教授）、加々美光行（愛知大学教授）、
加藤厚生（愛知工業大学名誉教授）、糸康弘（名城大学元教授）、
倉橋正直（愛知県立大学名誉教授）、近藤直子（日本福祉大学教授）、猿田正機（中京大学教授）、
将積茂（愛知教育大学名誉教授）、白岩謙一（名古屋大学名誉教授）、
諏訪兼位（名古屋大学名誉教授）、高橋昭弘（至学館大学名誉教授）、高倍鉄子（名城大学教授）、
田口富久治（名古屋大学名誉教授）、塚本隆敏（中京大学名誉教授）、
柘植新（名古屋大学名誉教授）、中川武夫（中京大学教授）、中嶋哲彦（名古屋大学教授）、
新美治一（名古屋経済大学名誉教授）、丹生潔（名古屋大学名誉教授）、
原昭午（愛知東邦短期大学元学長）、福田静夫（日本福祉大学名誉教授）、
別所良美（名古屋市立大学教授）、松田正久（愛知教育大学）、
水田珠枝（名古屋経済大学名誉教授）、宗貞秀紀（愛知東邦大学教授）、
森正（名古屋市立大学名誉教授）、森英樹（名古屋大学名誉教授）、
森川恭敏（名古屋自由学院短期大学元学長）、安川悦子（名古屋市立大学名誉教授）

大学別賛同者数一覧

愛大（56）名大（44）福祉大（31）名市大（21）県立大（15）名工大（12）
愛教大（6）至学館大（3）静岡大（2）鈴鹿医療科学大（1）中京大（2）中部大（2）
岐阜大（1）大阪大（1）福岡大（1）名古屋外大（1）愛知学院大（1）桜花学院大（1）
岐阜経済大（1）愛知学泉大（1）名古屋学院大（1）一橋大（1）名城大（1）
名古屋造形大（1）中京女子大（1）核融合科学研究所（1）東海学園大（1）
名古屋経済大学（1）
その他
呼びかけ人（31）事務局メンバー（7）

総計 254名

大学別賛同者名簿

愛知大学

浅井正 有澤健治 伊澤和義 伊藤孝司 岩崎正弥 大島隆雄 大西五郎 河田賢二 姜信和
葛谷登 沓掛俊夫 光部泰弘 胡麻本明子 近藤暁夫 佐藤正之 杉浦市郎 鈴木規夫
鈴木康志 高橋正 高橋秀雄 田川光照 竹内晴夫 玉置光司 土屋洋二 中尾充良 中崎温子
永田孝夫 長峯信彦 新津嗣郎 架谷真知子 長谷川淑子 馬場毅 早川勇 坂東昌子 廣瀬憲雄
藤城和美 保住敏彦 前田義博 松崎成子 三野豊浩 宮入興一 森山文昭 山田昌子 山本昭
山本大造 山口啓三

名古屋大学

糸魚川淳二 伊藤秀夫 大野治夫 加藤嘉津子 亀井關治 河合利秀 木村初男 小池直人 榊 達雄
定形 衛 佐藤 健一 佐藤 ひとみ 沢田 昭二 須川 徳子 杉浦一孝 鈴木正之 鈴木結子
瀧日久仁子 瀧日豊文 武市全弘 橋淳一郎 戸田貞一 鳥居達生 野崎一洋 星野香 松原妙子
三浦聡 三井斌友 本秀紀 安川寿之輔 山川武 山下拓也 山本才 山本由紀子 吉田重正
和田肇 渡辺信久

名古屋工業大学

大里齊 大原繁男 奥淳一 坂本功 庄建治朗 玉岡悟司 寺尾光身 西川博

日本福祉大学

足立浩 池田憲一 池谷壽夫 伊藤修毅 井上准治 今井証三 大竹秀樹 柿沼肇 片方信也
亀谷和史 木全和巳 木村隆夫 児島美都子 小林信次 近藤充代 樋田洋 永岡正己 那須野隆一
二宮勤輔 野崎泰志 秦安雄 福岡猛志 藤井克美 前原清隆 曲田浩和 三橋広夫 山口正
山本敏郎 渡辺靖敏

名古屋市立大学

有賀克明 安藤金男 伊藤恭彦 岡田吉勝 桑江彰夫 越田信 阪井芳貴 佐藤政憲 菅原真
鈴木桃子 寺田元一 平田雅己 福吉勝男 藤田栄史 藤吉行雄 森山昭彦 安田秀雄 山田明
山本明代 吉村公夫

愛知県立大学

伊藤稔明 内田純一 大塚英二 上川通夫 川畑博昭 久保田貢 小柳公代 宍戸健夫 鈴木寛
瀬野由衣 日置雅子 樋口浩造 堀尾良弘 横山明

愛知教育大学 稲毛正彦 牛田憲行 太田弘一 折出 健二 子安潤 藤井啓之

愛知工業大学 川口洋誉 佐藤由身子 櫃田倍之

至学館大学 加藤恒男 高橋正教 平岩定法

中京大学 岡本祥浩 平川宗信

中部大学 小林邦彦 宗宮弘明

鈴鹿医療科学大学 酒井健次 谷口公一

静岡大学 岩崎一孝 三浦孝

一名の方が署名している16大学の賛同者名については、省略します。